

# 佐野市立常盤中学校

## 応援プロジェクト！

令和元年10月12日、関東地方を襲った台風19号は、各地に甚大な被害をもたらしました。

栃木県佐野市立常盤中学校は、学校西側を流れる秋山川が氾濫し、東岸にある校舎は直接の被害を免れましたが、西岸に住む人々は、浸水や倒壊といった被害に遭いました。



### 佐野市立常盤中学校

全校生徒40名。佐野市北部の静かな山間の学校です。今回の台風で、校舎は直接的な被害を免れました。



学校の西側を流れる秋山川。倒木が橋を塞ぎ、物凄い激流となっています。堤防が決壊した場所からは、水が市街地へ流れ込みました。

# 知ってほしい！ 佐野市立常盤中学校の「今」

常盤中学校は、校舎こそ被害を免れましたが、地域には甚大な被害が生じ、生徒の皆さんは大変な思いをして通学しています。そんな常盤中の「今」を、同校のホームページより紹介します。

台風19号による災害で道路が崩落しているため、2台のスクールバスを乗り継いで通学しています。バスを乗り継ぐ間の約10分間の徒歩区間は、私有地（私道や庭先）を通行させていただいています。児童生徒が歩きやすいようにと砂利を敷いていただいたり、ヒルの被害が出ないようにと塩化カルシウムをまいていただいたりしています。地域の方々の児童生徒を思いやる心に感謝申し上げます。



復旧工事も急ピッチで進んでいます。



1・2年生の部活動終了後の下校バスに同乗し徒歩区間を引率しました。日没が早くなり、暗くなる時期となりましたが、LEDマグライトを購入して生徒に渡し、足下を照らして安全に歩くことができました。教育委員会により沢水の流れている箇所の橋も幅広いものが新設され、安全に渡ることができました。各方面からの教育の機会の保障に向けてのご努力に感謝し、それを受けて授業の充実への使命感を感じております。

